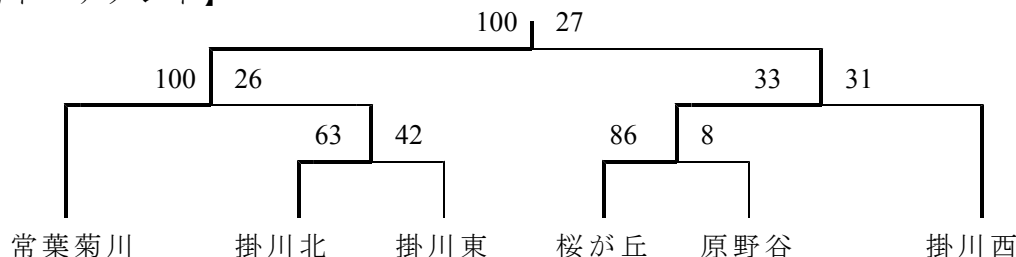


新人総合体育大会（北部男子）

【決勝トーナメント】



大会結果 優勝 常葉菊川 準優勝 桜が丘 3位 掛川北、掛川西

大会寸評

掛川市立北中学校 増田 陽一

今年の決勝は、前年度1年生大会で小笠大会を制した常葉菊川と、準決勝で第2シードの掛川西を破った桜が丘の対戦となった。前半は、人もボールも動き回るテンポの良いオフェンスで、常葉菊川が次々と得点を重ねていく。桜が丘は#4、#6のドライブを中心に反撃を試みるが、常葉菊川のディフェンスを中々崩せず、点差は開く一方であった。後半戦に入ると、常葉菊川がオールコートプレスを仕掛け、桜が丘はさらに苦しい時間帯が続く。終始形勢は変わらず、桜が丘を圧倒した常葉菊川が、北部地区優勝を果たした。

優勝作文

常葉菊川中学校 榎 統那

新チームになって、初めての公式戦で緊張しましたが、優勝することができました。これも先輩と一緒に練習させてもらったこととスピードがついたことや、仲間、先生、コーチ、保護者に支えられたことと感謝しています。期待に応えられるよう、これからは頑張っていきます。ただ、今回の大会ではミスが多く、課題が残った大会となりました。僕たちの良さは走れるということです。良さを活かし改善点を見つけ、直していきます。これからは感謝の気持ちを忘れず、全力で取り組んでいきます。そして、最終目標である「県大会上位入賞」を目指します。

新人総合体育大会（北部女子）

	桜が丘	常葉菊川	掛川東	掛川西	掛川北	順位
桜が丘	-	48-25	53-25	80-16	99-8	1
常葉菊川	25-48	-	39-34	58-18	81-21	2
掛川東	25-53	34-39	-	44-19	72-16	3
掛川西	16-80	18-58	19-44	-	51-31	4
掛川北	8-99	21-81	16-72	31-51	-	5

大会結果 優勝 桜が丘 準優勝 常葉菊川 3位 掛川東

大会寸評

掛川市立東中学校 井浪 貴斗

昨年度の1年生大会において圧倒的な強さで小笠北部を制した桜が丘が、今大会でもその強さを発揮した。組織力と気迫を兼ね備えた守備と、スペースをうまく使った攻撃で相手を翻弄し、他チームを圧倒して初優勝をした。2位争いは常葉菊川と掛川東の激闘となった。接戦の末、高さで勝る常葉菊川が準優勝となった。上位には届かなかった掛川北、掛川西は基礎的なミスが目立った。どのチームも、経験が浅く、今後の成長が楽しみである。また、上位校を中心に、一生懸命にボールを追いかけたり、審判に「お願いします。」とボールを手渡したりするなど、気持ちのよいコートマナーが好印象であった。

優勝作文

掛川市立桜が丘中学校 中山 菜摘

先輩たちが引退し、新チームとして臨んだ初めての公式戦。先輩たちの背中をただ追いつけたそれまでの1年間とは違い、自分たちが引いて張っていかなくてはならないというプレッシャーに、押しつぶされそうにもなりながらも仲間と力を合わせて迎えた新人戦、自分たちのやるべきことを一つ一つこなすことに集中し、『北部優勝』を果たすことができました。これからは追われる立場として、謙虚さと誇りをもつ練習に励みます。そして何より、支えてくださる保護者の方々に感謝し、その恩返しができるように、仲間と頑張ります。